

問1 江戸幕府が「田畑の売買を禁止する」という内容の法令を出した目的として、最も適切な説明はどれか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 百姓が土地を失うことを防ぎ、幕府が安定的に年貢を徴収するため
2. 百姓に武具を放棄させることで、一揆を未然に防ぐため
3. 土地の生産力を調査し、全国で統一した税制を確立するため
4. 百姓に商業を奨励し、貨幣経済を農村まで浸透させるため

問2 江戸幕府は、ポルトガルなどの国々を排除していく一方で、ヨーロッパ諸国の中ではオランダに対してのみ、長崎での貿易を継続することを認めました。オランダが他のヨーロッパ諸国と異なり、幕府から貿易を許可された最大の理由として正しいものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を目的とせず、貿易のみを行うことを幕府に約束したから
2. 徳川家康の外交顧問として、オランダ人が江戸城に常駐して政治を支えていたから
3. 島原・天草一揆の際に、幕府軍の側に立って反乱軍を攻撃するなどの協力をしたから
4. 生糸の輸出を独占しており、日本国内の衣類生産に不可欠な存在だったから

問3 江戸時代の中期、田沼意次が政権を握っていた時期などに、幕府が積極的に株仲間の結成を奨励した背景として、その経済的な仕組みを説明したものと正しいものはどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 商工業者に営業の独占権を認める代わりに、運上や冥加と呼ばれる税を納めさせて財政を潤そうとした。
2. 武士と商工業者の身分を統合し、身分制度を撤廃することで市場経済の活性化を図ろうとした。
3. 特定の商人にのみヨーロッパ諸国との自由な直接貿易を許可し、キリスト教を広めようとした。
4. 農民が都市部へ流入するのを防ぐため、商工業者の定員を厳しく制限し、農業生産を維持しようとした。

問4 江戸時代、河村瑞賢の建議によって日本海沿岸から下関を経由して大坂（大阪）へと至る「西廻り航路」が整備されました。この航路において、北前船などの寄港地として栄えた日本海沿岸の都市を次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 新潟
2. 銚子
3. 八戸
4. 平戸

問5 滋賀県に所在する安土城跡や、江戸時代の政治拠点であった彦根城などの史跡は、織田信長による統一事業から徳川氏による統治が終わるまでの時期に該当する。この歴史区分を何というか。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 古代
2. 中世
3. 近世
4. 近代

問6 19世紀における日本の総石高は約3021万石とされています。そのうち、江戸幕府が「直轄地」として直接支配していた領地（幕府領）の石高が占める割合として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 全国の総石高の約4分の1（約723万石）
2. 全国の総石高の約4分の3（約2250万石）
3. 全国の総石高の半分以上（約1800万石）
4. 全国の総石高の約1パーセント（約33万石）

問7 江戸幕府による朝廷や公家への統制の仕組みについて説明した文として、正しいものはどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。
2. 大阪城代を設置して西国大名との結びつきを断たせ、朝廷の裁判業務を代行させた。
3. 六波羅探題を設置して承久の乱の後の朝廷を厳しく管理し、公家の所領をすべて没収した。
4. 老中を京都に常駐させて天皇の政治参加を促し、幕府と朝廷による合議制を確立した。

問8 江戸時代の経済政策において、幕府と商工業者の利害関係を整理したとき、幕府は「運上」や「冥加」といった税を徴収する代わりに、商工業者の組織である「株仲間」に対してある特権を与えました。商工業者側がこの公認を得ることで得られた、経営上の最大の利点は何ですか。（2020年 広島公立入試 類似）

1. 幕府から営業の独占を認められ、他者の参入を防いで利益を確保すること
2. 年貢の納付を免除され、農村部での自由な取引が許可されること
3. 関所の通行税がすべて免除され、全国での自由な流通が保証されること
4. 幕府の許可を得ることなく、海外の商人から直接商品を仕入れること

問9 18世紀後半、老中の地位に就き、それまでの農業に依存した財政から、商業の力を利用した財政への転換を図った人物は誰ですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 田沼意次
2. 松平定信
3. 水野忠邦
4. 徳川吉宗

答え合わせ・解説

問1	答え 1 百姓が土地を失うことを防ぎ、幕府が安定的に年貢を徴収するため	江戸幕府の財政は、百姓から納められる米（年貢）に大きく依存していました。もし百姓が土地を手放して没落してしまえば、年貢を納める主体がいなくなり、幕府の収入が不安定になります。そのため、貧富の拡大を抑えて自作農を維持し、確実に徴収を確保する仕組みを整える必要がありました。
問2	答え 1 キリスト教の布教を目的とせず、貿易のみを行うことを幕府に約束したから	江戸幕府は、キリスト教の教えが幕府の封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、布教活動を厳しく禁じました。ポルトガルやスペインなどのカトリック諸国は、貿易と布教を一体として進めていたため排除されましたが、プロテスタント諸国であるオランダは、布教を行わずに商業的な利益のみを追求する姿勢を示したため、長崎の出島での貿易継続が認められました。
問3	答え 1 商工業者に営業の独占権を認める代わりに、運上や冥加と呼ばれる税を納めさせて財政を潤そうとした。	幕府が商工業者の組織である株仲間を公認した背景には、財政再建という大きな目的がありました。商工業者に対して、他の業者の参入を許さない「営業の独占」という特権を与える見返りとして、幕府は「運上（うんじょう）」や「冥加（みょうが）」といった名目の営業税を徴収しました。これにより、年貢（米）だけに頼らない安定した現金収入を確保しようとしたのです。
問4	答え 1 新潟	江戸時代中期、年貢米などを効率よく運ぶために「西廻り航路」が整備されました。この海路は東北・北陸地方から日本海を通り、瀬戸内海を経て「天下の台所」と呼ばれた大坂へとつながるものです。新潟は、この航路を利用する北前船などが立ち寄る重要な寄港地として、物資の集積拠点となり大きく発展しました。一方、銚子や八戸は主に太平洋側の「東廻り航路」に関連する都市であり、平戸は主に九州での対外貿易に関わる歴史を持つ都市です。
問5	答え 3 近世	織田信長による安土城の築城や天下統一への動きから、豊臣秀吉による全国統一、そして江戸幕府による安定した統治が続いた時代を「近世」と呼びます。中世の社会構造を引き継ぎつつも、兵農分離や検地によってより組織的な中央集権化が進んだ時代として定義されています。
問6	答え 1 全国の総石高の約4分の1（約723万石）	江戸幕府が直接支配した土地は「幕府領（または天領）」と呼ばれ、その石高は全国の約24%にあたる約700万石強でした。これに対し、全国の約75%（約2250万石）は大名が支配する領地（藩など）であり、寺社領や天皇・公家領の割合は合計しても2%に満たない極めてわずかなものでした。幕府はこの約4分の1の石高に加え、主要な都市や鉱山を直轄地として押さえることで、強力な権力を維持しました。
問7	答え 1 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。	江戸幕府は徳川家康の時代から朝廷の政治介入を制限する方針をとり、京都に京都所司代を置いて天皇や公家の動向を厳しく監視しました。また、京都所司代は京都の行政や治安維持、さらには西国大名が朝廷と接触しないよう目を光らせる役割も果たしていました。大阪城代は大阪城の守備、六波羅探題は鎌倉時代の役職であり、老中は江戸で幕政を統括する最高責任者です。
問8	答え 1 幕府から営業の独占を認められ、他者の参入を防いで利益を確保すること	江戸幕府は、商工業者が結成した同業者組合である株仲間を公認し、その見返りとして冥加金などの税を納めさせました。公認を受けた株仲間は、特定の商品の製造や販売を独占する権利を得たため、ライバルとなる新規業者の参入を排除し、自分たちの利益を安定して守ることができました。これは「自由な取引」とは対極にある、封建社会特有の特権的な経済システムです。
問9	答え 1 田沼意次	10代将軍徳川家治の時代に実権を握り、商工業者が結成した株仲間を積極的に公認して税を徴収しました。また、長崎貿易を拡大して俵物などの輸出を増やし、金銀の流出を防ぐとともに幕府の財政再建を目指しました。